

情報コーナーに新しい図書が39冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『いいね！ボタンを押す前に—ジェンダーから見るネット空間とメディア』	治部れんげ、田中東子、 浜田敬子他著	亜紀書房	2023	007.3ジ アカ	ネット空間で炎上しない、人を傷つけない、無意識に差別しないため、どんな点に気をつければいいのか。SNSユーザーが最低限身につけておくべき基礎知識。
『絵本で読みとくSDGs』	中川素子、浅野由子編	水声社	2022	019.5ナ チャイロ	SDGsを多角的な視点から絵本を通して読み解き、17の達成目標について考え、実行していくためのヒントを探る。SDGsに関する118冊の絵本リスト付き。
『50代からの生き方のカタチ—妹たちへ—』	関西学院大学ジェネラ ティビティ研究センター編	アルソス	2022	159.6カ オレンジ	「気がすむまで何かをやり切った」12人の女性たちからの、人生の本質を思い出させてくれるメッセージ。困難に直面したとき、悩んだとき、今後の人生を不安に思うときに。
『さらば、男性政治』	三浦まり著	岩波書店	2023	312.1ミ アカ	男性だけで営まれ、迎え入れられ、それを当然だと感じ、たまに女性の参入が認められても対等には扱われない「男性政治」。その構造に切り込み、変革の道筋を論じる。
『男性中心企業の終焉』	浜田敬子著	文藝春秋	2022	336.4ハ アカ	コロナによりこれまでの働き方や企業と個人の関係性が大きく変わりつつある現在、働き方、価値観、組織を変えようとする企業の先進的な取組について学ぶ。
『日常生活に埋め込まれた マイクロアグレッション 人種、ジェンダー、性的指向： マイノリティに向けられる無意識の差別』	テラルド・ウィン・スー著 マイクロアグレッション 研究会訳	明石書店	2020	361.4ス アカ	あからさまな差別ではないものの、曖昧な、無意識で見えにくい重大な結果をもたらすマイクロアグレッションについて、その内容、メカニズムや影響、対処法を明らかにする。
『女性のキャリアとビューティケア 昇進と外見・身だしなみの関係性を考える』	乙部由子著	ミネルヴァ書房	2022	366.3オ ミズイロ	女性管理職を取り巻く現代社会の環境と、「化粧」をキーワードに、管理職昇進への影響や、日頃の化粧意識等について女性管理職に聞き取り調査した結果を報告する。
『私らしく、働くということ』	主婦の友社編	主婦の友社	2022	366.3シ ミズイロ	大切にしたいのは自分軸。「仕事と暮らし」「私らしい仕事の見つけ方」など、40～60代の女性が語る、これまでとこれからの仕事のこと。
『消費者をケアする女性たち 「ヒープ」たちと「女らしさ」の戦後史』	満園勇著	青土社	2022	366.3ミ ミズイロ	ケアの視点を踏まえた商品・サービスの開発と、苦情や問い合わせに対する消費者のケアという役割を求められた「ヒープ」と呼ばれる女性たちの活躍の歴史。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『図解ポケット ジェンダーがよくわかる本』	瀬地山角、中村圭著	秀和システム	2022	367.1セ ミドリ	ジェンダーの定義や基礎知識、国内外の状況、職場・結婚・子育て・性的マイノリティとジェンダー、ハラスメントなど、ジェンダー論の基本を説明する。
『10代から知っておきたい 女性を閉じこめる「するい言葉」』	森山至貴著	WAVE出版	2023	367.1モ ミドリ	相手を瞬間的に傷つけたり、自由な言動をさえぎったりする「するい言葉」。女性が浴びせられるするい言葉を集め、それらの言葉から逃れるための手がかりを考える。
『私たちが声を上げるとき アメリカを変えた10の問い』	和泉真澄、坂下史子、土屋和代他著	集英社	2022	367.2イ ミドリ	ローザ・パークスや大坂なおみなど、アメリカ現代史において女性たちがあえて声を上げた場面を取り上げ、言動の背景、状況、影響等について考察する。
『ホワイト・フェミニズムを解体する インターセクショナル・フェミニズムによる対抗史』	カイラ・シュラー著 飯野由里子監訳 川副智子訳	明石書店	2023	367.2シ ミドリ	特定の社会や時代においてメインストリーム化されたホワイト・フェミニズムと、それに対抗すべく実践されてきたマイノリティ女性によるフェミニズムの歴史に焦点をあてる。
『ジェンダー平等社会の実現へ —「おかしい」から「あたりまえ」に』	杉井静子著	日本評論社	2023	367.2ス ミドリ	自分の身の回りや暮らしの中にあるジェンダー差別に気づき、声をあげるために知っておきたい様々な問題に言及し、これからのジェンダー平等社会のあたりまえを探る。
『田嶋先生に人生救われた私が フェミニズムを語っていいですか! ?』	田嶋陽子、アルテイシア著	KADOKAWA	2023	367.2タ ミドリ	結婚や生きづらさなどをテーマに、日常の中にあるフェミニズムについて対談する。
『コロナと女性の貧困 2020-2022 サバイブする彼女たちの声を聞いた』	樋田敦子著	大和書房	2022	367.2ヒ ミドリ	貧困や精神的な生きづらさを抱える女性たちを直撃した新型コロナウイルス。この2年間半に起きた事件や事象などを織り込み、必死に生きる女性たちの姿を映し出す。
『世界一やさしいフェミニズム入門 早わかり200年史』	山口真由著	幻冬舎	2023	367.2ヤ ミドリ	18世紀末の勃興期から現在まで、著名なフェミニストを軸に、フェミニズムに関する歴史的な経緯と世界的な広がりを体系的に解説する。
『ジェンダー平等社会の実現と発展的プロセスに関する研究—堺市女性団体協議会活動の戦後73年の軌跡に着目して—』	山口典子著	三恵社	2022	367.2ヤ ミドリ	「地域婦人(女性)団体」を可視化し、戦後日本の民主主義やジェンダー平等社会の実現のためにどのような役割と貢献を果たしてきたのかを明らかにする。
『男性危機(メンズ・クライシス)? —国際社会の男性政策に学ぶ—』	伊藤公雄、多賀太、大東貢生他著	晃洋書房	2022	367.5イ ミドリ	男性たちが直面する「危機」の状況とその背景を捉え直し、海外の先進事例を踏まえつつ、ジェンダー平等を促進しながら、男性たちの危機を緩和していくための具体策を探る。
『男が心配』	奥田祥子著	PHP研究所	2022	367.5オ ミドリ	恋愛・結婚、出世競争、育児、介護、定年後の生き方といった男性たちが直面する問題を取り上げ、「男らしさ」の呪縛から解放され、生きづらさを軽減するための方策を考える。
『男性は何をどう悩むのか —男性専用相談窓口から見る心理と支援—』	濱田智崇、 『男』悩みのホットライン編	ミネルヴァ書房	2018	367.5ハ ミドリ	男性相談や男性問題の基本的な解説に加え、「子育てと親子関係」「夫婦関係とDV」「職場の人間関係」など、男性特有の悩みを事例別に検討し、具体的な支援のあり方を示す。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『親子は生きづらい “トランスジェンダー”をめぐる家族の物語』	勝又栄政著	金剛出版	2022	367.9カ オレンジ	性別の違和感と向き合ってきた著者のエピソードや心情と、そばで見守ってきた母親の心の葛藤や変化を綴る。
『「地方」と性的マイノリティ 東北6県のインタビューから』	杉浦郁子、前川直哉著	青弓社	2022	367.9ス オレンジ	東北の性的マイノリティ団体に関わる23人の語りから、地方で暮らす性的マイノリティの実情や、そこで展開されている様々な活動について考察する研究書。
『トランスジェンダー問題 ー議論は正義のために』	ショーン・フェイ著 高井ゆと里訳	明石書店	2022	367.9フ オレンジ	UKのトランスジェンダーの状況をベースに、トランスジェンダーが直面する諸問題について幅広い調査や分析により明らかにする。
『告発と呼ばれるものの周辺で』	小川たまか著	亜紀書房	2022	368.6オ オレンジ	性犯罪刑法の改正、#MeToo、フラワーデモー。被害者目線に立って性犯罪、性暴力について書いてきた著者による、社会にまだ届かない小さな声の記録。
『ポルノ被害の声を聞く ーデジタル性暴力と#MeToo』	ぱっぶす編	岩波書店	2022	368.6パ オレンジ	デジタル性暴力やAV出演強要など、被害者の声を聞き続け、寄り添ってきた人たちによる証言集。
『人口減少時代に向けた 保育所・認定こども園・幼稚園の子育て支援 地域とともに歩む22の実践事例』	倉石哲也編集代表 石井章仁、古賀松香他編	中央法規出版	2023	369.4ク ピンク	ICTを活用した子育て支援、外国籍等多様なニーズをもつ家庭への支援、子育て支援を行う人材確保と地域との協働など、これからの保育所等に期待される役割に関する先駆的な事例を紹介。
『なぜ理系に女性が少ないのか』	横山広美著	幻冬舎	2022	407ヨ キン	理科・数学の成績は世界でトップクラスなのに、女子生徒が理系を選択しない理由とは？社会風土に着眼した、女子生徒の理系進学と社会における平等の関係に関する研究報告。
『女性の発達障害 困りごとにどう向き合うか』	司馬理英子監修	講談社	2023	493.7シ オレンジ	苦痛や生きづらさを感じる背景にある「女性なのに」というかたよった視線。女性の発達障害について生きづらさの原因をひも解き、本人と家族が過ごしやすくなるためにアドバイスする。
『ギャラリーストーカー ー美術業界を蝕む女性差別と性被害』	猪谷千香著	中央公論新社	2023	704イ オレンジ	画廊で若い女性作家につきまとうギャラリーストーカー。その存在が放置され続けた背景にある、ハラスメントの温床になるような美術業界の特殊な伝統と構造、体質を浮かび上がらせる。
『女の子がいる場所は』	やまじえびね著	KADOKAWA	2022	726.1ヤ チャイロ	サウジアラビア、モロッコ、インド、アフガニスタン、そして日本。国も文化も違う10歳の少女たちが日常の中で直面する女性差別を描くコミック。
『上野千鶴子がかもって文学を社会学する』	上野千鶴子著	朝日新聞出版	2023	910.2ウ チャイロ	家族、女・男の生き方、性愛、介護など、様々な文庫に対して、それぞれの著者の立ち位置や作品が刊行された時代背景などを、社会的に論じた解説書。
『ジェンダーレスの日本史 古典で知る驚きの性』	大塚ひかり著	中央公論新社	2022	910.2オ チャイロ	「夫婦別姓、核家族、シングルマザーだらけの古代・中世」など、神話から江戸川柳まで様々な古典作品を引用し、性の境があいまいという視点で、前近代の日本を考察する。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『異性装 歴史の中の性の越境者たち』	中根千絵、本橋裕美、 東望歩他著	集英社 インター ナショナル	2023	910.2ナ チャイロ	衣服により性の境界を超える異性装によって、主人公がジェンダーの縛りからどのように解放され、どのような結末を迎えるのか。古典文学・演劇から現代までの異性装を論じる。
『裸で泳ぐ』	伊藤詩織著	岩波書店	2022	914.6イ チャイロ	性暴力被害者として声をあげた著者が、被害者でも、ジャーナリストでもない、ただの私としてそれからの日々を綴ったエッセイ集。
『わたしの心を強くする 「ひとり時間」のつくり方』	岸本葉子著	佼成出版社	2022	914.6キ チャイロ	「時間の質をあげる」「暮らしの工夫」「人間関係の保ち方」「いざというときへの備え」など、ひとり時間のつくり方を5つの面から考える。
『わたしのペンは鳥の翼』	アフガニスタンの 女性作家たち著 古屋美登里訳	小学館	2022	929.9ア チャイロ	女性嫌悪、家父長制、公私双方の場で行なわれている抑圧…。アフガニスタンの女性作家18人が、アフガンで使われている言語で綴った、日常にまつわる作品集。
『グレイス・イヤー 少女たちの聖域』	キム・リゲット著 堀江里美訳	早川書房	2022	933.7リ チャイロ	少女たちには魔力があると信じられている地で、通過儀礼として存在するある風習に立ち向かう16歳の少女の物語。
『こどもバイアス事典 「思い込み」「決めつけ」「先入観」に 気づける本』	犬飼佳吾監修 パウンド著	カンゼン	2022	K141バ オレンジ	大人も子供も誰もが影響を受けているバイアスについて、平易な言葉で解説。バイアスの存在を知り、考え、自分自身で正しい答えにたどり着くための出発点となる一冊。